

## OECD 責任ある企業行動に関する文書とツール - 日本企業のための最新情報

[OECD 多国籍企業行動指針 \(OECD ガイドライン\)](#) は、国際的に合意された最も包括的な企業行動基準であり、各国政府が企業に対して推奨する勧告です。2023 年に改訂された最新の OECD ガイドラインでは、気候変動、生物多様性、技術革新、ビジネス・インテグリティ、サプライチェーン・デュー・ディリジェンス (DD) などにおける企業行動への期待が強調され、近年の進展を反映しています。特に、OECD ガイドラインは、企業が気候変動への対応や生物多様性保護において、国際的に合意された目標に沿った行動をとることを促す初の国際基準となった点が注目されます。

OECD 加盟国の約 75% では、企業がリスクに基づいたデュー・ディリジェンスを実施することを義務づける、または推奨する規制を導入済み、もしくは導入中です。これらの規制の多くは、OECD ガイドライン、国連「ビジネスと人権に関する指導原則 (UNGP)」、および ILO 三者宣言の枠組みに沿った内容となっています。そのため、OECD ガイドラインとそれを支える [デューデリジェンスガイダンス](#) を導入することで、企業はリスクに基づくデューデリジェンスを求める規制に対応しやすくなります。さらに、国際的な責任あるビジネス基準に従うことは、企業のリスク管理を改善し、ESG パフォーマンスを強化することで、機関投資家やビジネスパートナーからの信頼を高め、競争力を向上させることにもつながります。

このウェビナーでは、企業が OECD 責任ある企業行動センターから以下のような内容について最新情報を得ることができます：

- 2023 年版ガイドラインの主な改訂内容
- OECD ガイドライン、国連「ビジネスと人権に関する指導原則 (UNGP)」および ILO 三者宣言との関連性
- これらの国際基準と、グローバル市場における新たなサプライチェーン・デュー・ディリジェンス規制との関係
- サプライチェーンにおけるリスクベースのデュー・ディリジェンスを実施する企業向けの OECD ツールの活用方法

日 時：2024 年 11 月 29 日 (金) 17:00 - 18:00 (日本時間) / 09:00 - 10:00 (中央ヨーロッパ時間)

フォーマット：Zoom ウェビナー (英語)、日本語同時通訳あり

お申込み：こちらの [リンク](#) にお進みください。

本ウェビナーは、アジア地域におけるグリーン、デジタル、レジリエントなサプライチェーンの構築を目指した OECD 責任あるビジネス行動プロジェクトの一環として実施され、欧州連合 (EU) の資金提供を受けています。本プロジェクトの詳細および最新情報の購読については、以下のリンクをご参照ください：[Responsible Business Conduct for Green, Digital and Resilient Supply Chains in Asia | OECD](#)